



これからの東京を話そう

こどもワークショップで 話し合ったこと

未来の東京

2024年8月25日（日）実施

みなさんから
聴いた意見は
今後のアクションに
つなげていきます



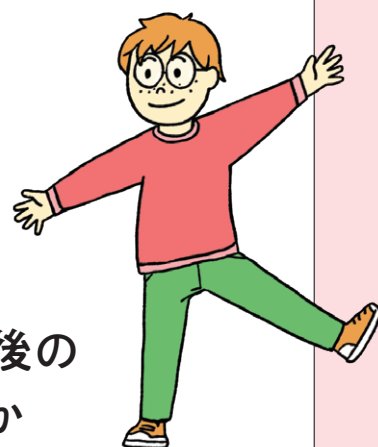
未来の東京

〔開催日〕 2024年8月25日（日） 〔場所〕 日本科学未来館

よりよい東京の未来を考えるため、
子供たちが思い描く理想の東京や、
25年後の東京のアイデアについて一緒に話し合ってもらいました。
みなさんの声と、その声をもとにした
東京都の取組や受け止めを紹介します。

みなさんに聞いたこと

- ✓ 自分の考える理想の東京
- ✓ 自分が都知事だったら25年後の
東京をどんなふうにしたいか



ワークショップの流れ



1

ツアー

日本科学未来館を
見学しました。

2

話し合い

グループになって
自由に意見を出し合いました。

3

みなさんの声

紙に書き出して、いろんな意見が
見えるようにしました。

4

発表

自分で考えたことや
グループで話し合ったことを
みなさんに伝えました。

5

声を届ける

東京都の職員に、みなさんの声を
届けることができました。



みなさんの意見やアイデア

✓ 子育てについて

地域全体で
子供(赤ちゃん)を育てる (小6)

産休を増やす、子供が大きくなっても
休みやすくする。お父さんも休めるように、
産休を取りやすい空気が必要 (小5)

親にも息抜きが必要 (小6)

子供が増えてほしい (小6)

子育てにお金がかからないようにする。
子供は育てるのにお金がかかるから、
産むのをあきらめちゃう人が多い (小5)

東京都の受け止め

子育てにはお金がかかったり、慣れない家事や育児に不安を感じる人もいます。そのような悩みを解決するため、子育てにかかるお金を少なくするための支援や、お父さんも育業

(育児休業の愛称)をしやすくするための取組などを進めます。みなさんが安心して子供を産み育てることができる東京を目指していきます。

✓ 教育について

英語教育を高める

(小6)

オンライン教育を使ったらいい

(小4)

子供や大人に関係なく、
色々な経験をできるようにしたい (小5)

小学校を大学みたいに、
選択学習できるようにしたい (小4)

東京都の受け止め

日本が世界との競争に勝ち抜いていくためには、一人ひとりの能力を高めて、世界で活躍できる人を一人でも多く育てていくことが大切です。

そのために、AI、デジタルを使った学習や海外で学ぶ機会を増やす取組などを進めています。

✓ 緑について

緑が増えてほしい

(小5)

自然を増やして、
きれいなまちになってほしい (小6)

東京ジャングル化

(小6)

大きな公園がほしい

(小5)

東京都の受け止め

緑は、私たちの遊ぶ場所、憩いの場としての役割はもちろんのこと、色々な生き物のすみかともなります。また、街から出る二酸化炭素を吸ったり、夏の暑さを和らげたりして、住みやすい環境を作ってくれます。

このように、緑がたくさんあることは、みなさんの生活にとても良い影響を与えます。東京都では、今ある緑をまもる取組や、公園の整備やまちづくりにより緑を育てる取組を進めています。

✓ テクノロジーについて

手が離せないときに
お手伝いロボットがいるといい

(小5)

日本科学未来館ツアーで見た
ロボットが、思っていた以上に発達してた
ロボットが買い物しちゃうかも (小6)

メタバース（仮想空間）で、
場所・障がい・性別・年齢
関係なく働ける (小6)

東京都の受け止め

みなさんが日本科学未来館で見たロボットのように、テクノロジーはすごいスピードで進化しています。東京都では、テクノロジーを徹底的に活用し、もっと便利で快適なまちを

目指していきます。そのために、AIなどの新しい技術を様々な場面で活用したり、人が運転しなくても動く自動運転の乗り物や空飛ぶクルマを実現するための取組を進めます。

✓ 環境・ゼロエミッションについて

バスや車が水素で動く
(小4)

暑い日が多すぎる。
暑くなくなってほしい (小4)

東京も日本も世界も
二酸化炭素ゼロにする
(小4)

太陽光エネルギーで
発電する (小4)



今世界では「地球温暖化」が進んでいます。東京でも、突然の大雨やとても暑い日が増えるなど、生活に影響が生じています。東京都では、この主な原因である二酸化炭素排出を2050年までに実質ゼロにする「ゼ

ロエミッション東京」を目指しています。そのために、太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用を増やしたり、みんなが無駄なく上手にエネルギーを使う「省エネ」を進めていきます。

東京都の受け止め

✓ 安全・安心について

災害に強いまち
(小5)

災害を感知して（自動で）
堤防が出てくる (小6)

災害で死者が出ないまち
(小5)

地震の防災グッズを提供。
若者が喜ぶものだといいと思う (小4)



大雨の回数が多くなり、その激しさも増えています。また、地震はいつ起きてもおかしくありません。こうした災害から、みなさんの命を守り、もっと安全で安心なまちをつくって

いきます。そのために、地下に雨を貯める施設をつくったり、地震で倒れる電柱をなくすために電線を地中にうめるなど様々な取組を進めています。

東京都の受け止め



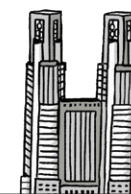
ワークショップの感想とお礼



みんなの意見が聞けて、
たしかにそうだなと思って、おもしろかった。(小4)

色々な意見が分かり、考えることができた (小6)

東京や国の問題について
深く具体的に考えられる機会はあまりないから、
この体験を大切にしたい (小5)



東京都のまとめ

「未来の東京」へのたくさんの自由なアイデアをありがとうございました。みなさんのアイデアも反映して、2050年代の東京の姿などをまとめた「2050東京戦略」をつくりました。こどもワークショップの様子も紹介していますので、ぜひご覧ください。

今回は、25年後の東京について話し合ってもらいましたが、東京都では、AIを活用して、もっと先の100年後の東京の未来予測を行いました。おもしろいアイデアが「22世紀の予言」にありますのでご覧ください、東京の未来を想像してみてください。



2050東京戦略
(ポケット版)



ワークショップ掲載
(448ページ)



22世紀の予言



ワークショップの概要

テーマ

未来の東京

内容

東京都は、明るい未来の東京を切りひらくための取組を進めています。時代の変化に対応するため、子供たちから意見を聴き、取組について検討していくためのワークショップを開きました。

集まってくれた人数

小学生（4～6年）：16名

日時

2024年8月25日（日） 13時から16時まで

場所

日本科学未来館

担当局

政策企画局



こどもワークショップってなに？

東京都は、子供の笑顔があふれる社会の実現を目指しています。

こどもワークショップは、社会の主役であるみなさんが
意見を出し合う場として開催しました。

東京都をもっとすてきな場所にするため、みなさんの思いや考えを聴きました。

なぜ、 子供に聴くの？

子供は社会の一員であり、たくさんの権利を持っています。
子供の権利が大切にされ、みなさんが幸せに過ごせるように
「東京都こども基本条例」ができました。

東京都こども基本条例

● 子供を権利の主体として尊重

子供には、誰もが持っている当たり前の「権利」があり、大切にされます。

● 子供の最善の利益が最優先

大人は、子供に最もよいことは何かを第一に考えます。

● 子供の意見は大切

子供の意見は価値があるものです。
大人は、子供の意見にしっかり向き合います。



東京都は、学校や水道、病院、道路、公園等によってみんなの暮らしを支えたり、社会のいろいろな問題を解決するために取り組んでいます。そして、子供のための取組を考えるとときには、主役であるみなさんの意見を大切にしたいと考えています。

東京都は、これからもいろいろな方法でみ

なさんの思いや考えを聴いて、政策に積極的に取り入れていきたいと思っておりますので、これからもぜひご意見をください。

東京都こどもホームページに
みなさんの声が
掲載されています



[編集・発行]

東京都子供政策連携室 企画調整部 企画調整課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番地1号

電話：03（5388）3812

E-mail：S1110301@section.metro.tokyo.jp

